

概要版

# 第三次 熱海市 環境基本計画

2022-2031

熱海市地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編)

～未来へつなぐ 海と山と湯のまち 熱海～

熱海市



# 環境基本計画とは？

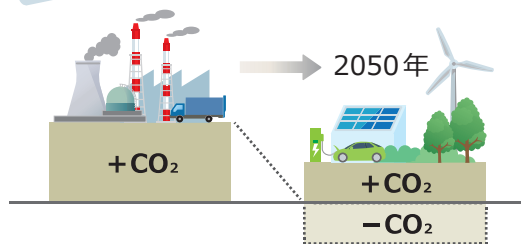
## 策定の趣旨

SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組や、政府による「2050年カーボンニュートラル宣言」など、本市の環境を取り巻く状況は大きく変化しています。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大、開発による地域の自然環境や生活環境との調和の問題などの諸課題が顕在化しています。

こうした社会情勢や環境課題の変化に適切に対応していくため、「第三次熱海市環境基本計画」を策定することとしました。



二酸化炭素の排出量と吸収量を等しくすることを「カーボンニュートラル」といいます。



## 計画の期間

本計画の対象期間は、2022（令和4）年度から2031（令和13）年度までの10年間とします。

また、社会情勢や計画の進捗・達成状況などを踏まえ、2026（令和8）年度に中間見直しを行います。

2022  
（令和4）  
年度

2026  
（令和8）  
年度

2031  
（令和13）  
年度

第三次熱海市環境基本計画

中間見直し

## 計画の位置付け

本計画は、「熱海市環境基本条例」の第9条に基づく計画であり、「熱海市総合計画」を環境面から実現するための計画として位置づけます。

また、本計画に含む「熱海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく実行計画です。本市は2022（令和4）年9月、2050（令和32）年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」をしたことから、ゼロカーボンシティの実現に向けた実行計画として位置づけます。



## 熱海市のすごいところ /



熱海市の環境には、すごいところがたくさんあるね。

1200年以上の歴史のある国内屈指の温泉地です。



小沢の湯

雑がみ回収プロジェクトを10年以上実施しています。



雑がみ回収ボックス

民の約9割がマイバッグを持参しています。



傘布マイバッグ

推定樹齢2000年の大クスは全国2位の巨樹です。



来宮神社の大クス

2100種以上の動植物が市内で確認されています。



ゲンジボタル

姫の沢ビジターセンターが「ウッドデザイン賞」を受賞しました。



姫の沢ビジターセンター

子どもたちの環境教育に力を入れています。



アースキッズチャレンジ

環境保全活動が盛んに行われています。



未来炭化ユニット

【資料：（株）未来創造部】

# 計画の全体像

10年後、熱海市の環境はどうなっているのかな？



望ましい環境像

## ～未来へつなぐ 海と山と湯のまち 熱海～



緑あふれる山々と美しい海に囲まれた本市は、温暖な気候や豊富な温泉、風光明媚な景色、旬の味覚など、豊かな環境の恵みによって発展してきました。本市はこの恵まれた地域の自然に誇りを持つとともに、その自然を守っていく必要があります。

そのため、市・事業者・市民・観光客等がパートナーシップを形成し、環境に関する取組を総合的かつ計画的に実践することにより、本市の豊かな自然を未来へつなぐ持続可能なまちを目指します。



関連するSDGsの目標を示しています。





# 環境をまもる「9つの取組方針」

望ましい環境像の実現に向け、今後取り組むべき事項を「9つの取組方針」としてまとめました。

## 取組方針 1 脱炭素のまちをつくる

「地球温暖化対策実行計画」の推進、環境にやさしいまちづくりや交通の普及、二酸化炭素の吸収の促進などにより、脱炭素のまちをつくります。



事業者・市民・観光客等のみなさんと協働で取り組むもの



屋上緑化や壁面緑化の推進



自転車や公共交通機関の利用

## 取組方針 2 エネルギーをつくり大切に使う

脱炭素社会の実現、エネルギーの安定確保、防災機能の向上を目的として、環境と調和した再生可能エネルギーを普及させるとともに、省エネルギーを推進します。



太陽光発電の設置



省エネルギーの実践

## 取組方針 3 ごみを少なくする

生ごみや食品ロス、廃プラスチック、雑がみ、事業系ごみ、観光ごみなどを減らすため、3R\*1を推進します。

\*1：ごみ減量・再利用・再資源化



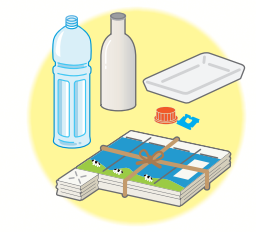
雑がみなどの回収協力



食品ロスの削減

## 取組方針 4 ごみを収集・適正処理する

焼却灰の資源化など埋立量の削減による最終処分場の延命化、グリーン購入の推進による環境配慮製品の普及を図ります。



ごみ分別の徹底



環境にやさしい製品の購入



数値目標を16項目設定し、目標の管理をしていきます。

### 数値目標

主な指標	現状（2020年度）	最終目標（2031年度）
雑がみ回収プロジェクトの回収量	91t/年	100t/年
生活系ごみ（観光ごみ除く）排出量	833.7g/人・日	700.5g/人・日
エコチャレンジ KIDs 実施学校数	3校/年	11校（小中学校全校）/年

わたしたちにもできることがたくさんありそうだね。

本計画では、この9つの取組方針に沿って環境施策や、事業者・市民・観光客等のみなさんによる取組を展開していきます。

## 事業者・市民・観光客等のみなさんと協働で取り組むもの

### 取組方針 5 安全・安心な生活環境にする

大気環境や水環境の保全、悪臭・騒音・振動・土壌汚染の防止、有害化学物質による汚染や公害を未然に防止することにより、安全・安心な生活環境を目指します。



生活雑排水による水質汚濁防止



公害の未然防止

### 取組方針 6 きれいで清潔なまちにする

環境美化の推進や不法投棄への対策を行うとともに、環境衛生の向上を図り、きれいで清潔なまちを目指します。



清掃活動への参加



ポイ捨ての禁止

### 取組方針 7 多様な生物と共生する

生物多様性の確保、動物愛護の推進、自然とのふれあいの場の保全・整備・活用などにより、多様な自然や生物と共生するまちを目指します。



生物多様性への関心の向上



特定外来生物の防除

### 取組方針 8 緑と水を守り育てる

森林、農地、河川、海岸、温泉、公園緑地を保全・管理するほか、開発等による環境影響を低減し、緑と水を守り育てるまちを目指します。



公園管理への協力



開発時の配慮

### 取組方針 9 環境を考え行動する人を育てる

環境教育・環境学習の推進、市民などによる環境保全活動の活性化、環境情報の提供などにより、環境を考え、行動する人を育てます。



環境教育の実践・参加



環境保全活動への参加

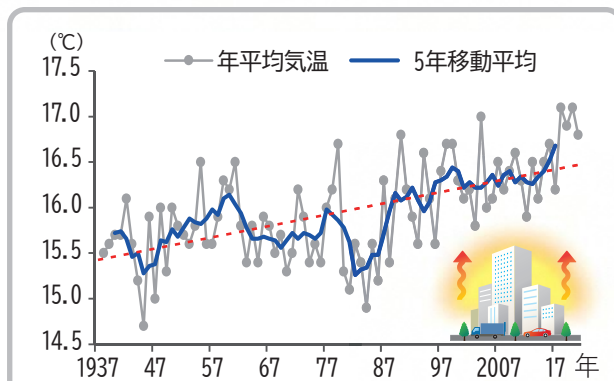


# ゼロカーボンシティの実現に向けて

## 平均気温の変化

網代特別地域気象観測所のデータによると、1937（昭和12）年以降、年平均気温が徐々に上昇していることが分かります。特に2018（平成30）年度、2020（令和2）年度は17.1℃と過去最高を記録しています。

IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）の「第6次評価報告書・第1作業部会報告書」では、最悪のシナリオとして、今世紀末までに最大5℃程度も気温が上昇すると予測しています。



平均気温の推移（網代）

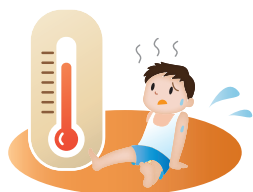
【資料：気象庁】



いろいろな影響が出てしまうんだね。

## 地球温暖化による影響

IPCCの「第6次評価報告書・第1作業部会報告書」によると、気候変動は地球温暖化の進行に直接関係して拡大し、極端な高温、大雨、熱波、干ばつ、強い熱帯低気圧の発生、海氷・積雪・永久凍土の縮小などが指摘されています。



極端な高温



大雨による水害の発生



強い熱帯低気圧の発生



海氷の縮小

## 二酸化炭素の排出削減目標

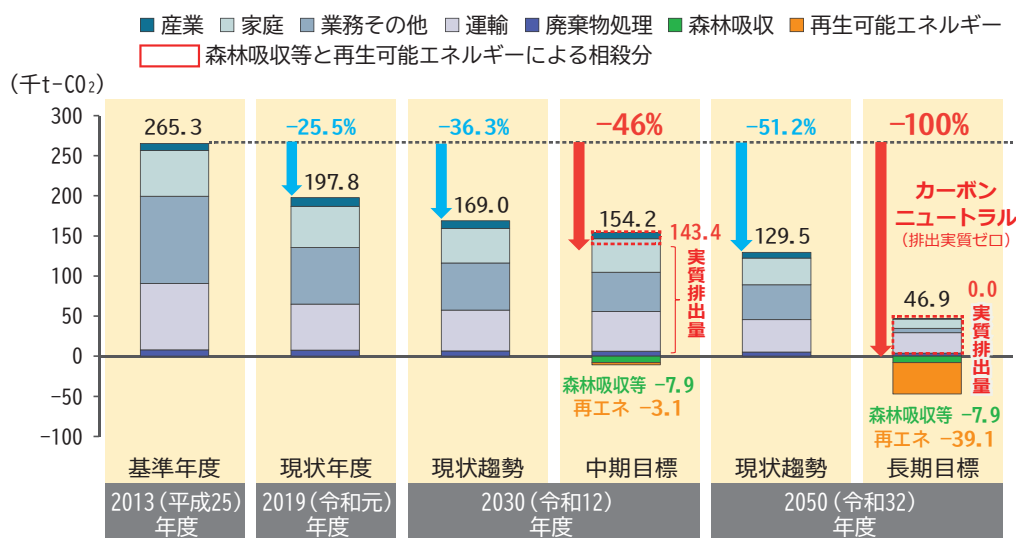
国の「地球温暖化対策計画」を踏まえ、本市の二酸化炭素排出量の削減目標は以下のとおりとします。

### 中期目標

**2030**  
(令和12)年度  
2013（平成25）年度比で  
**46%削減（さらに50%に挑戦）**

### 長期目標

**2050**  
(令和32)年度  
**カーボンニュートラル（排出実質ゼロ）**  
**「ゼロカーボンシティ」の実現**



省エネルギー、森林による吸収、再生可能エネルギーの普及でカーボンニュートラルを目指します。



# 脱炭素ロードマップ



脱炭素につながる取組の例は、環境省の「ゼロカーボンアクション 30」も参考にしてください。(市のウェブサイトにもリンクがあります)



～ 2030 (令和 12) 年度

2013 年度比 46%削減

～ 2050 (令和 32) 年度

カーボンニュートラル達成

## 再生可能エネルギーの導入

太陽光発電・太陽熱利用

● 建築物への導入促進

● 建築物への最大限の導入促進

その他の再生可能エネルギー

● 地熱・バイオマス・地中熱利用の研究

● 地熱・バイオマス・地中熱利用の導入

水素利用

● 水素の社会実装の研究

● 水素の社会実装

## 省エネルギーの推進

省エネルギー行動

● 国民運動 COOL CHOICE  
● 地産地消の推進

● 市民の省エネ行動を市内外に発信

省エネルギー機器

● HEMS・BEMS\*1・蓄電池・燃料電池  
コージェネレーションなどの普及啓発

● HEMS・BEMS・蓄電池・燃料電池  
コージェネレーションなどの本格的な導入

建築物

● ZEH・ZEH-M・ZEB\*2 化の普及啓発

● ZEH・ZEH-M・ZEB 化の推進

まちづくり

● 低炭素まちづくり計画、地域公共交通  
計画、立地適正化計画の策定・推進

● コンパクトシティ、公共交通の  
シームレス化の実現

交通

● 次世代自動車への転換  
● 次世代自動車のインフラ整備  
● エコドライブの推進

● 次世代自動車の本格的な普及  
● 超小型モビリティの普及

ライフスタイル

● テレワークの推進

\*1: エネルギーを自動的に管理するシステム。  
HEMSが住宅用、BEMSがビル用。

\*2: エネルギーの収支がゼロになる住宅、マンション、  
ビルのこと

## 循環型社会の実現

ごみ

● 3R の推進

● 3R + Renewable\*3 による  
サーキュラー・エコノミー\*4 の実現

プラスチック・食品ロス

● 「プラスチック資源循環法」に基づく  
取組の推進  
● 食品ロスの削減

\*3: 再生可能な資源(バイオマスプラスチック)に替えること

\*4: 廃棄物を出さない、一度使った資源を捨てずに使い続ける  
社会のこと。

## 森林吸収等の対策

森林

● 森林の適正管理の推進

農地土壌

● 堆肥や緑肥の活用

都市緑化

● 都市緑化の推進

## その他の対策

環境教育

● アースキッズ事業などの環境教育の  
推進

● カーボンニュートラルの実現に  
向けた人材の活躍

環境保全活動

● 市民意識の高揚  
● SDGs の推進

● カーボンニュートラルの実現に  
つながる環境保全活動の活性化

まちづくり

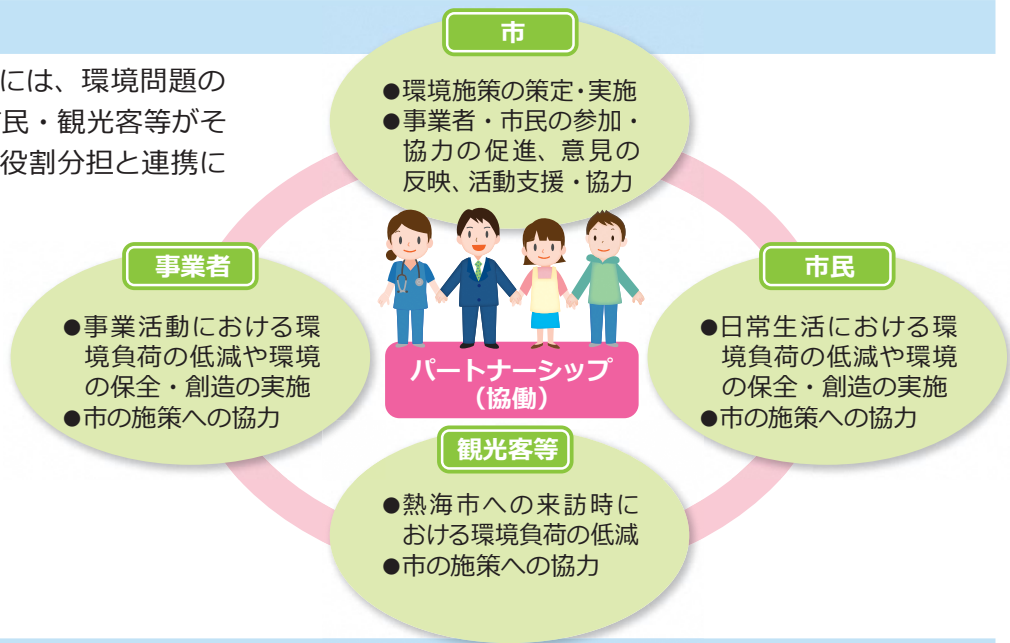
● 環境情報の提供・活用

# 計画の進め方

## 計画の推進体制

本計画を推進していくためには、環境問題の解決に向けて市・事業者・市民・観光客等がそれぞれの立場に応じた公平な役割分担と連携により、取組を協働で推進していくことが必要です。

協働で取り組むと大きな成果が出そう!

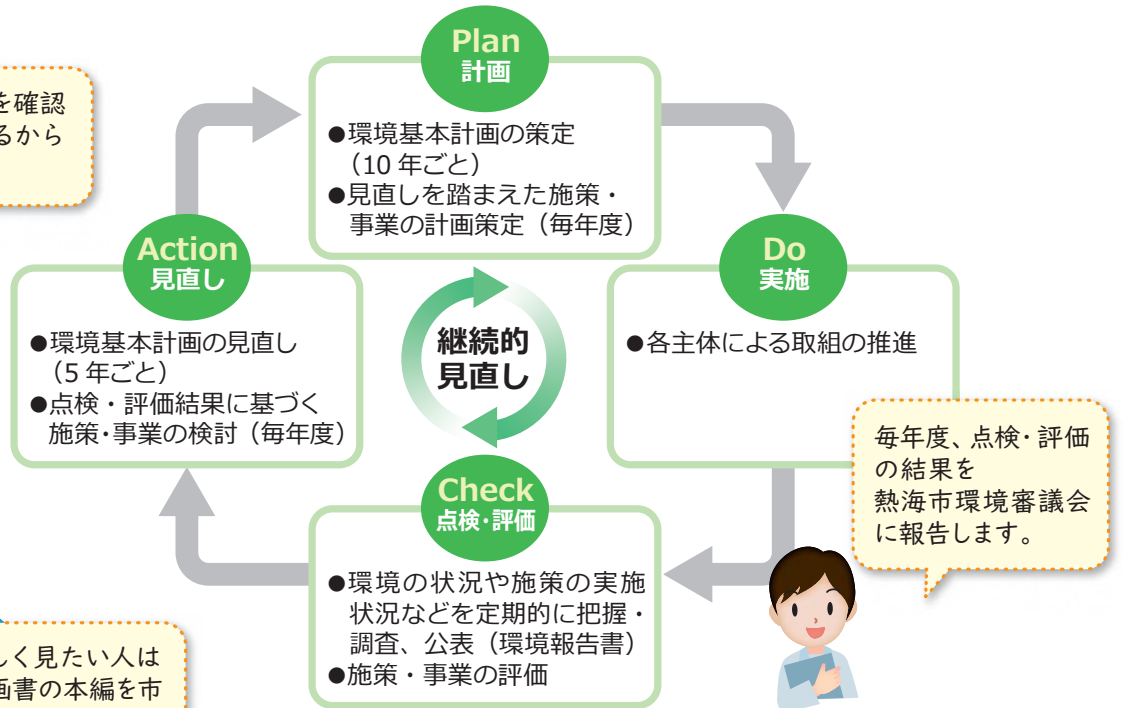


## 計画の進行管理

計画の実効性を確保するため、Plan (計画)→ Do (実施)→ Check (点検・評価)→ Action (見直し)のPDCAサイクルによる環境マネジメントサイクルにより進行管理していきます。

本市の環境の状況や施策の実施状況などを把握・調査し、その結果について「熱海市環境審議会」に報告を行うとともに、広報やウェブサイトを通じて市民に公表します。意見・提言の聴取、計画の見直しを行い、それに基づき更なる取組を実施していくものとします。

計画の進み具合を確認しながら改善するから安心だね。



**第三次熱海市環境基本計画**  
熱海市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)  
【概要版】

熱海市市民生活部協働環境課  
〒413-8550 静岡県熱海市中央町1番1号  
TEL: 0557-86-6272 FAX: 0557-86-6276

<https://www.city.atami.lg.jp> 令和4年12月

表紙の写真は大湯間歇泉 (市指定文化財)、輪郭は熱海市域を表現しています。